

報道関係各位

2026年8月4日

株式会社サイキンソー

**株式会社サイキンソー、東京都中野区と地域包括ケア推進に向けた「NIC+協定」を締結
～腸内フローラ（腸内細菌叢）データを活用し、区民の健康寿命延伸へ～**

腸内フローラ検査「マイキンソー（Mykinso）」を開発・提供する株式会社サイキンソー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：原 洋介）は、東京都中野区（区長：酒井 直人）と2026年5月8日に「NIC+（ナカノ・インクルーシブ・ケア・パートナーシップ）協定」を締結いたしました。



協定締結の背景と目的

近年、高齢化社会の進展に伴い、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。中野区では、多様な主体が協働して地域での支え合いや健康づくりを推進する「NIC+（ナカノ・インクルーシブ・ケア・パートナーシップ）協定」の取り組みを進めています。

株式会社サイキンソーは、「細菌叢（サイキンソー）で人々を健康に」というミッションのもと、自宅で手軽に受けられる腸内フローラ（腸内細菌叢）検査サービス「Mykinso（マイキンソー）」等を提供してまいりました。

こうした背景のもと、中野区における地域包括ケア体制の充実という本協定の目的に賛同し、当社が保有するヘルスケア分野の資源やノウハウを地域貢献活動およびネットワークの中で活用するため、本協定を締結いたしました。

中野区長との懇談・写真撮影について

2026年5月8日の協定締結を受け、同年7月31日に中野区役所にて中野区長・酒井直人氏との懇談および写真撮影を行いました。懇談では、サイキンソーが保有する腸内細菌叢データを活かした他自治体での事例紹介などから、中野区における地域課題解決に向けた意見交換を行いました。

まずは、中野区での地域の健康イベント等に参加し、区民の健康づくりについて都度協議しながら進めて参ります。

NIC+（ナカノ・インクルーシブ・ケア・パートナーシップ）協定とは

中野区が推進する、地域包括ケアの実現に向けた協定制度です。区と企業・団体・事業者等が双方の強みや資源を生かして連携・協働し、高齢者支援や障がい者支援、健康づくり、地域の居場所づくりなど、地域課題の解決や包括的な支援体制の強化を目指します。（[詳細](#)）

「ナカノ・インクルーシブ・ケア・パートナーシップ協定」



NAKANO Inclusive Care Partnership Agreement

マイキンソーについて

自宅で誰でも簡単にできる腸内フローラ（腸内細菌叢）検査サービス。腸内フローラの良し悪しを5段階で評価する「腸内フローラ総合判定」の搭載に加え、ビフィズス菌や酪酸産生菌、エクオール産生菌などの有用菌、肥満や大腸がんのリスクに関係がある要注意菌など10項目が確認できます。加えて、菌の項目に合わせて腸内環境を改善するためのアドバイスもお伝えします。全国 1,500 件以上の医療機関で受けられる「マイキンソー プロ（Mykinso Pro）」も展開しています。



サービスサイト：<https://mykinso.com/>

会社概要

「細菌叢で人々を健康に」を企業理念に掲げ、腸内フローラをはじめとする常在細菌叢と心身の健康・疾患リスクとの関連を解明し、全ての人々の日常に個別最適な解を提供することで、誰もが自然と健康になれる社会を目指しています。その一環として、腸内環境の状態を把握することが健康維持・増進に繋がるとの考えから、自宅で手軽にできる腸内フローラ検査「マイキンソー（Mykinso）」を開発しました。日本人の大規模な菌叢データベースと高度なデータサイエンス技術を活用し、検査サービスの拡張やOEM開発、システム構築支援、匿名加工情報の研究利活用推進など、菌叢データに基づく事業を多角的に展開しています。

- ・会社名：株式会社サイキンソー
- ・設立：2014年11月19日
- ・所在地：東京都渋谷区代々木1-36-1 オダカビル2階
- ・代表者：代表取締役 原 洋介
- ・主な共同研究先：大阪大学微生物病研究所
- ・HP：<https://cykinso.co.jp/>

＜本リリースに関するお問い合わせ＞
株式会社サイキンソー 広報担当
電話：03-5309-2522
メールアドレス：public_relations@cykinso.co.jp